

積雪地用 ロックフェンス





SNJ型 支柱間隔:2m



SNJ型 支柱間隔:2m

雪荷重に強い 耐雪設計です。

雪荷重を考慮しないで設計されている従来の落石防護柵は、柵の上50cm以上の積雪になると、金網の上端部破損が数多く発生しています。これは、積雪による沈降力に起因しています。東京製網では、このような破損事故を未然に防ぐために、積雪地に適した落石防護柵「積雪地用ロックフェンス」を開発。数次にわたる実験を重ね、雪荷重を徹底分析して設計しました。積雪地での落石対策に適した防護柵であり、積雪沈降力・斜面積雪圧も考慮したロックフェンスです。

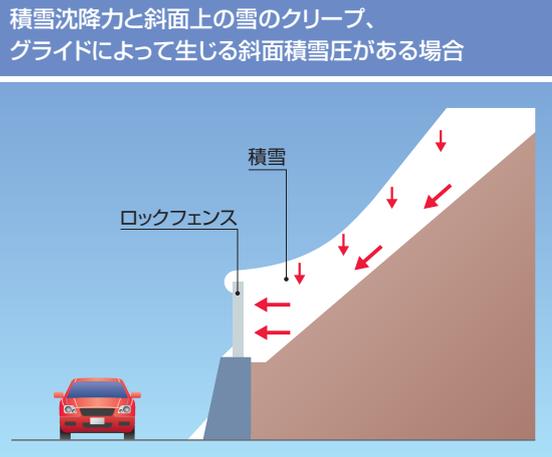


SNF型



SNJ型 支柱間隔:3m

積雪沈降力と斜面積雪圧の両方を考える場合



SNJ型 (支柱間隔2.0m)

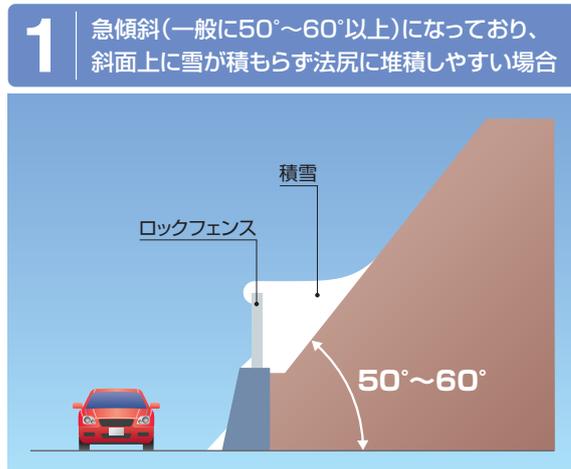
- 支柱間隔:2.0m
- 標準品の設置可能縦断勾配:45°以下

SNF型 (雪底切対応型)

- 支柱間隔:1.5m
- 標準品の設置可能縦断勾配:45°以上可

※積雪深、グライド等の条件により、支柱等の規格をサイズアップする場合があります。

積雪沈降力だけを考える場合



SNJ型 (支柱間隔3.0m)

- 支柱間隔:3.0m(間隔保持材付)
- 標準品の設置可能縦断勾配:45°以下

積雪地用ロックフェンス補強部材

- 既設のロックフェンスに設置
- 支柱間隔:3.0m
- 標準品の縦断勾配への対応不可

形式・仕様

形式	柵高	ワイヤロープ 本数(本)	金網	支柱間隔 (m)	部材断面			
					中間支柱	端末支柱	上弦材	【間隔保持材】
RF-5-SNJ	1.5	5	3.2φ×50×50	2.0 【3.0】	H-200×100×5.5×8	H-150×150×7×10	101.6φ×4.2	【4.5t×65】
RF-7-SNJ	2.0	7				H-175×175×7.5×11		
RF-8-SNJ	2.5	8				H-200×200×8×12		
RF-10-SNJ	3.0	10				H-200×200×8×12		
RF-12-SNJ	3.5	12				H-200×200×8×12		

注):【 】内部材は、支柱間隔3.0mの場合に使用します。

構造図

